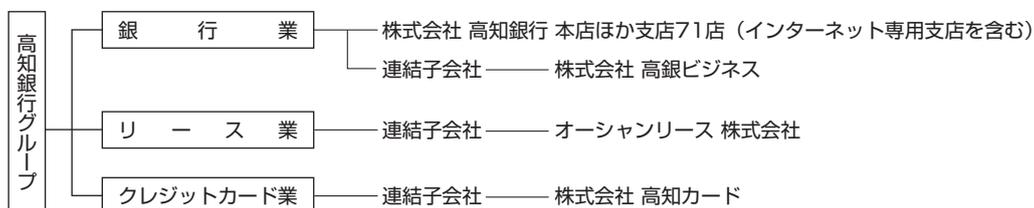


## 高知銀行グループの概況

### ●事業系統図(平成28年9月30日現在)

当行グループは、当行、当行の連結子会社3社及び非連結子会社(持分法非適用)1社で構成され、銀行業務を中心に、リース業務、クレジットカード業務などの金融サービスに係る事業を行っております。

当行グループの事業に係わる位置付けは次のとおりであります。



### ●連結子会社の概要(平成28年9月30日現在)

会社名	事業の内容	設立年月日	資本金	当行 出資比率	他子会社 出資比率	住所
株式会社 高銀ビジネス	現金精査整理業務、清掃管理業務等	昭和54年8月22日	1,000万円	100%	0%	高知市本町三丁目3番4号
オーシャンリース 株式会社	リース業務等	昭和49年10月1日	2,000万円	45%	0%	高知市知寄町一丁目4番30号
株式会社 高知カード	クレジットカード業務	昭和62年8月18日	2,000万円	5%	37.5%	高知市知寄町一丁目4番30号

(注) 持分法非適用の非連結子会社1社は上記事業系統図に含めておりません。

## 営業の概況

### ●経営環境

当中間連結会計期間(平成28年4月1日~平成28年9月30日)のわが国の経済は、雇用・所得環境は改善が続くなかで、設備投資は持ち直しの動きに足踏みがみられたものの、個人消費は底堅い動きとなるなど、全体では緩やかな回復基調が続きました。

当行の主要営業基盤である高知県の経済は、個人消費は一部に弱い動きがみられたものの、公共事業は高水準で推移したほか、雇用・所得環境も緩やかな増加傾向にあるなど、全体では緩やかに回復しつつあります。

### ●業績(連結)

経常収益は、前年同期比1億64百万円減少して125億円となりました。一方、経常費用も前年同期比2億53百万円減少して106億86百万円となりました。この結果、経常利益は前年同期比88百万円増加して18億13百万円となりました。

また、親会社株主に帰属する中間純利益は前年同期比51百万円減少して13億1百万円となりました。

当中間連結会計期間末における財政状態については、総資産は前連結会計年度末に比べ91億円増加して1兆648億円となりました。また、純資産は前連結会計年度末に比べ3億円増加して711億円となりました。

譲渡性預金を含めた預金等は、前連結会計年度末に比べ30億円減少して9,029億円となりました。一方、貸出金も、前連結会計年度末に比べ52億円減少して6,748億円となりました。また、有価証券は、前連結会計年度末に比べ19億円増加して3,098億円となりました。

なお、セグメント情報における業績については、銀行業務での経常収益は前中間連結会計期間比1億5百万円増加して95億93百万円、経常費用は同比26百万円増加して78億95百万円、セグメント利益は同比78百万円増加して16億97百万円、セグメント資産は同比86億92百万円増加して1兆556億96百万円、セグメント負債は同比52億19百万円増加して9,885億92百万円となりました。

リース業務での経常収益は前中間連結会計期間比2億86百万円減少して27億81百万円、経常費用は同比3億1百万円減少して26億68百万円、セグメント利益は同比14百万円増加して1億13百万円、セグメント資産は同比8億20百万円減少して106億23百万円、セグメント負債は同比9億85百万円減少して72億10百万円となりました。

クレジットカード業務での経常収益は前中間連結会計期間比2百万円減少して1億76百万円、経常費用は同比1百万円増加して1億72百万円、セグメント利益は同比3百万円減少して4百万円、セグメント資産は同比26百万円減少して21億40百万円、セグメント負債は同比43百万円減少して11億59百万円となりました。

## 最近3中間連結会計期間及び2連結会計年度に係る主要な経営指標等の推移

(単位：百万円)

	平成26年度中間期 (平成26年4月1日から 平成26年9月30日まで)	平成27年度中間期 (平成27年4月1日から 平成27年9月30日まで)	平成28年度中間期 (平成28年4月1日から 平成28年9月30日まで)	平成26年度 (平成26年4月1日から 平成27年3月31日まで)	平成27年度 (平成27年4月1日から 平成28年3月31日まで)
連結経常収益	13,755	12,664	12,500	25,873	25,114
連結経常利益	3,306	1,724	1,813	5,263	3,606
親会社株主に帰属する中間純利益	2,781	1,353	1,301	-	-
親会社株主に帰属する当期純利益	-	-	-	3,922	3,012
連結中間包括利益	4,010	△ 717	588	-	-
連結包括利益	-	-	-	7,182	2,798
連結純資産額	65,539	67,533	71,184	68,523	70,863
連結総資産額	1,019,103	1,056,495	1,064,884	1,051,033	1,055,705
連結ベースの1株当たり純資産額(円)	472.63	491.17	525.80	500.99	523.01
連結ベースの1株当たり中間純利益金額(円)	26.57	12.51	12.05	-	-
連結ベースの1株当たり当期純利益金額(円)	-	-	-	36.56	27.64
連結ベースの潜在株式調整後 1株当たり中間純利益金額(円)	13.56	7.09	5.38	-	-
連結ベースの潜在株式調整後 1株当たり当期純利益金額(円)	-	-	-	19.28	14.83
自己資本比率(%)	6.18	6.14	6.43	6.27	6.45
連結自己資本比率(国内基準)(%)	10.89	10.76	10.59	10.68	10.64
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,898	△ 5,301	13,811	17,828	△ 1,010
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,187	△ 2,496	△ 7,479	△ 1,290	△ 2,010
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 337	△ 283	△ 279	△ 526	△ 467
現金及び現金同等物の中間期末残高	24,752	38,106	48,749	-	-
現金及び現金同等物の期末残高	-	-	-	46,187	42,698
従業員数(人) [外、平均臨時従業員数]	942 [250]	931 [260]	924 [269]	924 [256]	914 [265]

(注) 1. 当行及び国内連結子会社の消費税及び地方消費税(以下、「消費税等」という。)の会計処理は、税抜方式によっております。  
2. 自己資本比率は、(中間)期末純資産の部合計 - (中間)期末新株予約権 - (中間)期末非支配株主持分を(中間)期末資産の部の合計で除して算出しております。  
3. 連結自己資本比率は、銀行法第14条の2の規定に基づく平成18年金融庁告示第19号に定められた算式に基づき算出しております。当行は国内基準を採用しております。

## 連結自己資本比率(国内基準)

(単位：百万円)

平成27年9月末

自己資本比率	10.76%
自己資本(コア資本)	62,397
コア資本に係る基礎項目	62,514
コア資本に係る調整項目(△)	117
リスク・アセット等	579,379

平成28年9月末

自己資本比率	10.59%
自己資本(コア資本)	64,009
コア資本に係る基礎項目	64,216
コア資本に係る調整項目(△)	207
リスク・アセット等	604,198